

令和6年度 学校関係者評価書

南アルプス市立南湖小学校

学校関係者評価委員会

- 1 実施日 令和7年1月15日(水) 午後3時30分より
(初めに甲西4校の全体会を行った後、各学校ごとに分かれて学校関係者評価委員会を行った。)
- 2 会場 甲西中学校 学習資料センター(図書室)
- 3 評価者 学校関係者評価委員
大森 修 (地域住民代表)
保坂 重敏 (地域住民代表)
村松 博己 (元 甲西中校長)
入倉 喜明 (南湖地区主任児童委員) ※今回は都合により、書面でご意見をいただきました。
長澤 稔 (PTA会長)
学校職員
鶴田 誠司 (校長)
米山 隆男 (教頭)
- 4 学校から提案された内容
教職員・保護者・児童のアンケートの昨年と今年の結果の比較、及び分析と考察(教頭)
- 5 協議の内容
※学校評価の結果と考察、改善策について説明後、特に課題と思われる点についてご意見やアドバイスをいただいた。

① 計画的な家庭学習のために

(学校関係者評価委員より)

- ・児童は自分ではやっていると考えているが、保護者の方々は、まだまだだと思っている。このギャップは、家庭学習を児童が行っている時間に保護者の方は仕事で認識ができていないかもしれない。
- ・家庭学習を行うことにより、授業の復習になるので、保護者の方へ協力を求めるとともに学校側で取り組むための手立てを工夫してほしい。
- ・中学校へ向けて、家庭学習を行う習慣づけはとても大切になってくるので、低学年のうちから家庭で学習する習慣をつけてほしい。

(学校より)

- ・学校の授業での学力を定着させるためにも、日々工夫を凝らした課題や宿題を出すとともに、家庭学習定着週間などを利用し、今後も指導を継続していきたい。

②児童のあいさつについて

(学校関係者評価委員より)

- ・教職員・保護者のアンケート結果では、児童はあまりあいさつをしていないイメージだが、中学生を含め、小学生もよくあいさつをしてくれると感じている。
- ・最近では、こちらから声をかけづらい面もあり、また声をかけても返事が返ってこない場面が増えている。不審者対応の影響が、あいさつにも波及していると思われる。
- ・朝、通りすがりの高校生にもあいさつをしているが、高校生はよくあいさつを返してくれる。
- ・田島公民館の所では、あいさつしてくれる子としてくれない子が半々である。和泉地区では、とても大きな声であいさつをしてくれる子がいて、感心している。
- ・低学年は、積極的にあいさつしてくれますが、学年が上がるにつれて、あいさつがない児童が多いように思います。学校・家庭だけでなく、地域の人たちがあいさつしてくれるように種々の団体（地区、民生児童委員を含めて）等とも連携してはどうでしょうか。

(学校より)

- ・学校でも、あいさつは人と人のコミュニケーションの第一歩であり、とても大切なことであることを指導しているが、さらにあいさつができる児童を育てるために、日々職員の方から声をかけ、見本を見せ、実践していきたい。

③ ネット利用・スマホ・携帯について

(学校関係者評価委員より)

- ・スマートフォンを何に使っているかで必要性が違ってくる。保護者との連絡手段のツールであるなら必要かもしれない。
- ・SNS等で使用する場合は、家庭でのルール作りが大切であるので、まだの家庭は、児童の安全を守るためにも早急にルール作りを行ってほしい。
- ・防犯教室等でネット利用の怖さを学習しているようだが、スマホ・携帯の所持率が年々上がっているため、今後も継続して行ってほしい。
- ・家庭で子どもが進んで守れるルールづくりができているでしょうか？むしろ保護者側に問題があるように思います。
- ・すでにご存じだと思いますが、山梨県教育庁生涯学習課で行っている「ほっと！ネット セミナー」はとても良かったと思いました。できるだけ多くの保護者に受けていただけるように、「土」・「日」とかにできるとよいと思います。

(学校より)

- ・どの学年においてもスマホ・携帯の所持率が上がっているため、学級活動や道徳の時間に学習を行うとともに、外部の講師を招いて安全教室を開催し、事件やトラブルが起きないように今後も行っていく。

④ 小中一貫教育について

(学校関係者評価委員より)

- ・小中で交流があることは、素晴らしいことである。卒業した先輩たちが、南湖小の後輩たちに陸上記録会に向けてアドバイスをしたり、3学期には6年生に甲西中学校の様子を教えてくれる機会を設けてくれたりしてくれるので、今後もできるだけ交流ができる機会を設定してほしい。

(学校より)

- ・忙しい中学生が、後輩たちのために一緒に活動したり、交流を深めたりする機会がなかなかないので、特に中学校に向け不安を抱えている6年生にはいい機会になっている。今後も一緒にできることを考え取り組んでいきたい。

⑤ その他の感想・要望等

- ・小学生に自己主張の力（自分の考えを述べる力）をつけていただきたい。海外は自己主張が非常に強い。現在外国人の流入が多いので、これからは、自分を表現する力が必要である。運動会の応援合戦を見たが、これを子どもたちの力だけで作り上げていたら素晴らしい。報徳祭も子どもたちが歌いたいものを作り出す機会にしてほしい。また、聞く態度もともに育ててほしい。（海外の人は、人の話をばかにせず、真剣に聞いてくれるので）
- ・教員の多忙化が問題になっているので、先生方には無理をせず、減らせるところは減らして、今後も活躍していただきたい。

令和7年1月30日

評価書作成責任者

事務局 学校職員

米山 隆男